

平成 27 年度「体育の日」中央記念行事

スポーツ祭り 2015

主催 文部科学省、(独)日本スポーツ振興センター、(公財)日本体育協会、(公財)日本オリンピック委員会、
(公財)日本レクリエーション協会、(公財)日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、
NPO 法人日本オリンピック協会、(一社)日本パラリンピアンズ協会、読売新聞社
イベントホームページ <http://www.sports-matsuri.jp/>

今年も体育の日に「スポーツ祭り 2015」にビリヤードは参加してきました。今年は晴天のため昨年を上回る 312 名の参加者がありました。報道発表によると全体で 14,000 人の参加ということです。今年はスタッフをたくさん集めたため、写真を撮る余裕がありましたのでイベントの一部を紹介します。



ナショナルトレーニングセンター。体育館が 3 段重ねになっている。人間と大きさを比べてください。



JR 赤羽駅前 10 年前は「国立スポーツ科学センター」ではタクシーは理解してくれなかったが今は「トレセン」で通用するようになった。



スキーなどのスピードの出る種目のための新施設。
「風洞実験棟」



開門前の本部テント。



開会式会場の「西が丘サッカー場」。トレセン・JISS・サッカー場・陸上競技場・宿泊棟が1箇所に集まってスポーツ施設を構成している。



本日のビリヤードスタッフ総勢 13 名。一人恥ずかしが写っていない。おっさん率が高いところに問題がある(なにしろ子供相手なので・・・)。



地元商店街の出店。食欲をそそるにおいが充満する。昼時はものすごい人ばかりで目が回る。



体育館前のステージ。今年は「よしもと」も呼んだようだ。



カバディ。アジア大会にも入っている種目。インドが強い。というか国技。



クリケット。イギリスの国民的スポーツ。競技人口はサッカーについて世界第 2 位といわれている。



スポーツ祭りのシールを(照れずに)顔に貼る青柳嫁。夫妻でスタッフとして参加。主催者から「スタッフは率先して顔に張ること」との指示。



シールをダブルで貼る奥田(中学2年)と池田。



「ビリヤードは車椅子に適したスポーツです」と声を大にする池田。東京国体障害者の部の優勝者。出番がきて張り切っています。



近いということで駆り出された JPBA 松村プロ(この人は顔シールにはじめは抵抗があったようだ)と立派にインストラクターを務めるたまちゃん。



順番待ちはつらいこと。しかしその時間をうまく活用して簡単な説明とビリヤードの宣伝をし、待っていることを忘れさせるようにしています。



スタッフエリアの入り口にはガードマン(ウーマン)がいて毎回敬礼をしてくれますが、こちらは民間人で敬礼されることに慣れていないので、最初は結構照れました。が、慣れるとかなり気持ちいいです。



作品名

娘の写真を撮る母親の写真を撮った



この日の屋内陸上はキンボール(かなり体を使う)、ボート体験(すごく体を使う)、スポーツチャンバラ、ダーツ、ブーメラン、ビリヤード、屋外ではカバディ、クリケット、ゲートボール(決して高齢者だけのスポーツではありません)、コーフボール、タッチラグビー、テーパーボール、ディスクゴルフなどが体験コーナーとして用意されました。オリンピックスポーツは体験コーナーではなく予約制で申し込まなければいけません。

NBA では来年(2016年)の「体育の日イベント」の女性スタッフを募集します(実際の募集は9月になってから)。このHPをみて来年はスタッフとして参加しようと思った人は来年9月になったら03-5770-7911まで連絡ください。